

験を重ねたことが業績の大きな源になっていることがわかる。最後に、国王の外科医となっても一般人の治療をつづけたこと、床屋外科医から医師として最高の地位を得たのもちまでも続く苦勞のなかで、行われた研究と著作にも触れられている。

第四章では、これらをまとめてパレの業績が解説されている。パレの臨床に関する沢山の業績の中で、鉄砲の創の治療と足の切断に際しての血管結紮は有名である。うっかり読むと、パレがはじめて血管結紮を行ったと思ひ込む人もいられるかもしれないが、血管結紮という方法はすでに七世紀からあり、パレは焼きごてにかわるこの方法の正さを強い抵抗の中で証明し、普及させたわけである。

この本は絵図・写真も多くとても読みやすい。一気に読破できそうであるが、いずれの章も内容が濃く、一行もおろそかに読みとばせない力作であり、読み終わったあと、さわやかな満足感が残る本である。貴重な絵や図はできればカラーにして欲しかったと思うのは、読者の欲張りな望みかもしれない。

編集委員会からこの本の紹介をといわれたとき、ふたつ返事で引き受けたが、改めてこの本を読み、撮っていただいたNHKのビデオをみながら、これは大変なことを引き受けてしまったという思いで、今はすこし後悔している。この分野では素人同様の私がい、この本の内容を正しく紹介するのは、荷が重すぎると感じただからである。言葉の足りなかつた点はさておいて、わが国の外科の原点であるパレについての、この面白い本が、医史学会の人達だけでなく、学生や若い医師達に、さらには一般の人々にも広

く読まれることを期待している。

(山本 修三)

〔日本放送出版協会、一九九〇年、B6判、一九八頁、定価七八〇円〕

茨城県医師会史編纂委員会編

『茨城県医師会史』△昭和戦後編▽

本書は、昭和五十八年発行の『大正編』以降、『昭和戦前編』『昭和戦中終戦編』に続く『戦後編』の第一分冊である。第二、第三分冊は、今後、引続いて刊行される予定になっている。編纂委員会の委員長石島弘氏は、本学会の会員で、外科医であるが、医史学者でもある。

昭和二十年から、昭和四十年までの茨城県医師会史である。本文は、年度ごとの記録、記載になっており、第十九章までの章だてになっている。しかし昭和二十年代から二十二年度までは、敗戦直後の通例で、文書、資料が不足しており、第一章「新生医師会の設立」としてまとめられている。

従来の茨城県医師会は、昭和二十二年六月二十三日に解散し、新生医師会は、同年十一月一日に、法的に成立した。本書の中心は、第二章昭和二十三年度から第十九章昭和四十年までの医師会の活動史である。本書の体裁、内容の配列は、概ね前例にならって構成したとされているが、医師会の会議の議事を克明に記録

しているところに特徴がある。

巻末八五七頁から九〇一頁は「茨城県医師会史（昭和戦後編）関係年表」である。昭和二十二（一九四七）年から昭和四十（一九六五）年までの年表である。「県医師会関係事項」、「衛生行政関係事項」、「一般事項」に分け、三段にした形で表示している。

巻末九〇三〜九一三頁は「人名索引」、九一四〜九二二頁は「事項索引」である。巻頭に茨城県医師会長の小川清氏の「序」、巻末に編纂委員長の石島弘氏の「あとがき」戦後医師会の流れを顧みて」が記されている。また、巻頭には、六頁にわたり、歴代会長の肖像写真が各一頁に載せられている。さらに、昭和二十五年九月、昭和三十七年八月に新築された医師会館の二枚の写真が一頁の中に載せられ、医師会の活動が写された写真二枚が最後の頁に見られる。

医師でもない私に「紹介」せよと編集委員会からの依頼が来て、とまどったものの、医学界の外の人間が、医師会なるものを眺めるのもよいと考えて、執筆した。昭和二十年代からの茨城県医師会の活動、対応は、はやい時期の医薬分業問題、現在まで続く保険にかかわる諸問題が、特に目に付く。

さらに、看護婦の需給問題であり、准看護婦養成への努力が大きな事業であったようである。医師会活動が、戦後の医療行政に対応したものであり、日本医師会の活動に強く結びついたものであること的印象をもった。

ここで、日本医師会、茨城県医師会の活動について、どうこういうつもりはない。また、本書の紹介もさることながら、私は、

近年各地の医師会で続々刊行されている医師会史についての私の関心を表明したい。

医学史研究会は、医療史研究を柱にした学会であるが、日本医学史学会、『日本医学史雑誌』も、決してそれを除外するものではないはずである。中央の歴史研究に片寄りがちであった史学において、地方への視点が欠ける反省がある昨今、地方の医学史資料として、医師会史が重要であるという認識から、私は本書の紹介を引受けた。

（矢部 一郎）

〔茨城県医師会、一九九〇年、A5判、九四二頁、写真八頁、非売品〕